



**旧片桐邸**  
 平成一〇年十月二六日、川島君江さんから寄贈された建物です。昭和十三年、電気業界で成功を収めた片桐勝蔵氏によって建てられました。和風建築ながら洋風の要素も随所に見られ、昭和初期のモダンな雰囲気も今に伝えています。現在は中山文化村のひとつとしてコンサートやお話会が開かれ、地域に親しまれています。

住所：市川市中山3-15-2  
 電話：047-333-6147 (清華園)  
 開館日：原則毎週金・土・日曜日  
 開館時間：午前9時～午後5時  
 (入館は午後4時30分まで)  
 入場料：無料  
 (企画展等開催中は有料となる場合があります)

**法華堂**  
 国指定重要文化財  
 法華経寺を開いた當木常忍(日常)が近隣の有志に働きかけ、銭四貫をかけて文応元(1260)年に建立した日蓮宗最古の本堂。かつては若宮の奥之院にありました。本尊として釈迦と四菩薩像が置かれています。

**五重塔**  
 国指定重要文化財  
 江戸時代以前の五重塔としては千葉県唯一です。元和8(1622)年、本阿弥光室(本阿弥光悦の甥)が阿彌の菩提を弔うため、加賀藩主前田利光公の援助を受けて建立しました。細かな装飾が少なく、同時代の本門寺(東京都大田区)、浅草寺(東京都台東区)に比べはるっとした外観です。春の桜、秋の紅葉と、どの季節も絵になる中山のシンボルともいえる建築物です。

**仁王門(赤門)**  
 朱塗りのため通称「赤門」と呼ばれます。何度か災害に見舞われましたがそのたびに再建されてきました。現在の仁王門は大正時代に建てられたものです。その名前の通り左右に仁王像が置かれています。扁額の「正中山」の書は寛永三筆の一人、本阿弥光悦の筆によるものです。

**総門(黒門)**  
 朱塗りの赤門に対して、黒塗りのため「黒門」の通称で呼ばれます。江戸時代のお城によく見られる高麗門という形式で、控柱に支えられた2本の本柱に銅板葺きの屋根が乗っただけのシンプルで豪快な造りです。中央に掛かる扁額は掛川城主・太田資順の筆によるものです。

**東山魁夷記念館**  
 20世紀を代表する日本画家・東山魁夷画伯の画業を顕彰する記念館です。画伯は生涯の大半を市川で過ごし、代表する作品の全てを市川の水で描いたと語っています。記念館は画伯の人間形成や芸術性に多大な影響を与えた留学先のドイツの民家をモチーフにしたつくりで、印象的な八角形の塔をそなえています。庭園は画伯の好きだった白樺などが植栽され、カフェレストランでの食事やミュージアムショップでの買い物も楽しめます。

住所：市川市中山1-16-2  
 電話：047-333-2011  
 休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始・展示期間  
 開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
 入場料：有料(一般500円、大学生・高校生250円、中学生以下無料、特別展の際は別料金あり)  
<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/bunka/higashiyama/index.html>

**聖教殿**  
 『立正安国論(国宝)』『観心本尊抄(国宝)』『日蓮自筆遺文(国指定重要文化財)』日蓮の著書など貴重な資料を保存するために(財)聖教護持財団の篤志により、日蓮宗内外の援助のもと昭和5年完成。外壁は石造りで、当時の宗教建築の権威、伊東忠太東京帝国大学教授が設計しました。様式はインドの仏塔風で、境内の建築の中でも異彩を放っています。資料を災害、湿気などから守るため、換気扇、避雷針などさまざまな工夫がこらされています。

**四足門**  
 国指定重要文化財  
 もともとは鎌倉の愛染堂にあったものを移築して、法華経寺本院の玄関門としていました。再度移築され、現在の位置に置かれています。江戸時代に建造された五重塔などと異なり、室町時代の様式による細かな装飾や、柔らかに曲線を描く「海老虹梁」という梁が特徴です。

**祖師堂**  
 国指定重要文化財  
 日蓮宗の祖、日蓮と歴代六祖を祀るお堂。現在の祖師堂は延宝6(1678)年建立で、焼失などによる再建を経て、昭和62年から平成9年にかけて解体修復工事が行われました。建築様式は建立当時から非常に珍しい「比羅入母屋造り」というもので、ほかに吉備津神社本殿(岡山県)で見られるだけです。側面から見ると、大きな屋根が二つ重なって見えるのが特徴です。

**清華園**  
 清華園は、平成4年9月7日、石井はなさんから寄贈されました。石井家は江戸時代の中頃の享保年間(1716～36)からこの地に住み、近代に入って文房具店と「清華堂」と名付けた書店を営んでいました。現在は中山文化村のひとつとして地域の文化活動の拠点となっています。庭園では四季折々の花や紅葉を楽しむことができます。

住所：市川市中山4-14-1 電話：047-333-6147  
 休館日：毎週月曜日・年末年始  
 開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
 入場料：無料(企画展等開催中は有料となる場合があります)

- 凡例**
- かえで
  - つばき、さざんか
  - かきのき
  - どくだんつつじ
  - ひがなばな
  - ざくろ
  - いちよう
  - きんもくせい
  - つわぶき
  - むくろじ
  - けやき
  - はぎ
  - トイレ
  - 案内板
  - バス停
  - 道標
  - 1～16 文化財